

事業者向け

放課後等デイサービス 自己評価結果(公表)

事業者 一般社団法人 楽育楽家
事業所名 アイラック

配布 2022年3月
公表 2022年3月31日

配布数9 回収数9
回答率 100%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	工夫している点や課題 今後の改善内容・改善目標など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	3	0	0	作業スペースや、作業で使用するテーブルの大きさなど工夫している。
	2 職員の配置数は適切であるか	9	0	0	0	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	6	2	0	構造上仕方がないが、段差がある。段差・階段等はあるが、対象児は、知的障がい・発達障がい・精神障害となっている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	3	0	0	全員同じ日に勤務することが難しいので、顔を合わせて意見を交換できない。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0	0	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1	0	0	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	3	0	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	0	0	月1回の法人内研修を実施している。毎月、一度の研修を行っている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1	0	0	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	3	0	0	WISC-IV、WPPSIⅢ、遠城寺式乳幼児分析的発達検査法、MEPAを備え、必要に応じて使用している
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	6	0	0	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1	0	0	必要性については見直しを持ちながら都度確認している。スタッフ間で情報を交換をして、プログラム内容が固定しないようにしている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	2	0	0	長期目標から段階化した短期目標を達成するための課題を状況に応じて設定している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	3	0	0	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	2	0	0	日々の業務に追われて、毎回とは言えない時もある。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	5	0	0	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1	0	0	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	2	0	0	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	2	0	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1	0	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	3	1	0	必要に応じて連絡・確認を行っている。 気になるお子さんには、学校との連携を取り、対応している。 送迎はしていないので、保護者を通じての共有となっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	-	-	-	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	3	0	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	3	5	1	0	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	5	0	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	6	0	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	4	1	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	0	療育後に保護者へのフィードバックを行って、お子さんの様子を伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	4	0	0	月1回、保護者の方向けの勉強会を実施している(希望制)。 毎月、保護者に対しての勉強会を実施している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	0	相談があった場合、迅速に対応をしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	7	1	0	同じグループ・月1回の勉強会・不定期の公開講座やイベントで自然と交流が生まれている。 それを意図している訳ではないが、事業所送迎がない為、送り迎えで来所することで、同じグループの保護者たちは交流している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	0	スタッフ間で、すぐに相談をして、すぐに対応をしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0	0	
	35	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	3	0	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	3	0	0	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	5	1	0	定期的な避難訓練は難しいが、防災対応を意識したイベントを開催し、子ども達に非常災害を想定した療育活動を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	3	0	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	3	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	3	1	0	医師の指示所はいただいているが、保護者の方を通して具体的な食物を確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	2	0	0	職員会議の中で、情報共有し、再発防止に努めている。事例集は作成していないが、日々の打ち合わせで確認。運営会議のテーマのひとつとして、1か月分のヒヤリハットを議案書に掲載し、共有を図っている。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所より

全職員が「はい」と回答した設問もある一方で、意見の分かれたものもありました。

意見の分かれた、あるいは「はい」の少なかった幾つかの項目について検討を致しました。

③ 事業所内、事業所敷地内においては、段差や階段などがあり、バリアフリー化はできておりません。主たるサービスの対象児を、知的障がい児・発達障がい児として開所をしていること、賃貸物件のため改築が難しいこと、等が理由ではありますが、危険な場所が無いよう、これからも施設整備については丁寧にしていきたいと思っております。

④① これらについては、児発管・常勤スタッフが取り組む比重が高く、非常勤スタッフまで含めた全職員が参画できていない可能性があります。勤務曜日等の理由において参画できなかった場合にも、適切に共有するための改善を行ってまいります。

⑥ グループ療育終了後、すぐに放課後デイのお子さんがいらっしゃることもあり、支援終了後の打ち合わせが別の日になったり、次の療育日の支援開始前打ち合わせにて前回の振り返りも同時に行うことが多くあります。全体で共有し、それを次の支援で活かせるよう、共有の仕方について、今一度検討を致します。

⑭⑲⑳㉑㉒㉓ 実際には非常に多くの機関との連携・情報共有や自立支援協議会への参加等を行っておりますが、情報を職員全体で共有できていないのではないかと考えております。どのスタッフが出席したどの会議が、何に当たり、どのような内容であったか、どのような助言を受け連携を行ったかなど、今後は全スタッフが参加する会議にて、より丁寧に共有していきたいと考えました。

全スタッフが情報共有をすることの難しさは、常日頃より感じていましたが、今回の結果を見て、改めてその認識をいたしました。

非常勤スタッフも多いため、全員で顔を合わせて会議ができるのは、月2回程度です。その中で、必要性の高いものから共有・意見交換をし、平行して、毎日の朝の打ち合わせと事務日誌において情報共有を図っていますが、今回の自己評価で、全職員に十分に共通理解ができていない部分があることが見えたと思っております。

管理者・児発管ができていたつもりになっていた部分をあぶり出し、改善に向けた策を実施してまいりたいと考えます。